

令和5年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川東中学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

(1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。

(2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。

平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。

(3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和5年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

中学校第3学年、原則として全生徒

3 調査実施日

令和5年4月18日(火)

4 調査の内容

(国語、数学、英語) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校調査は、国語、数学、英語とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。 	
	<p>教科に関する調査の調査時間は、国語、数学及び英語それぞれ 50 分とする。 なお、英語の調査時間は「聞くこと」、「読むこと」及び「書くこと」に関する問題は 45 分とし、「話すこと」に関する問題は 5 分程度とする。</p>	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	<p>学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査</p> <p>【20分程度】</p>	<p>学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査</p>

本校の調査結果の概況

中学校

<教科に関する調査> は全国平均正答率を上回ったもの

国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使い方に関する事項	2	61.9	68.8	67.5
情報の扱い方に関する事項	2	67.6	64.3	63.4
我が国の言語文化に関する事項	3	76.5	75.9	74.7
話すこと・聞くこと	3	86.1	83.4	82.8
書くこと	2	69.3	65.0	63.2
読むこと	4	67.2	65.2	63.7

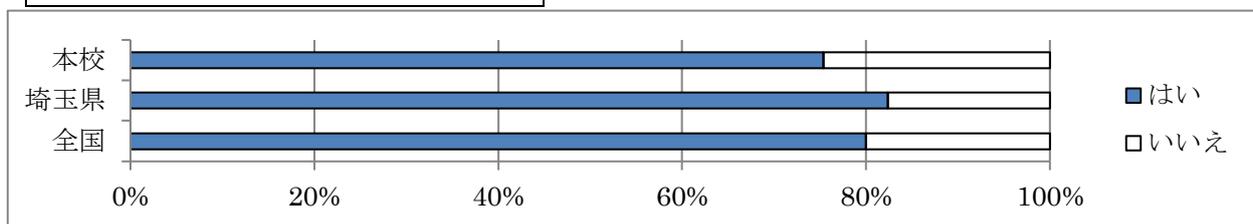
数学				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と式	5	65.6	62.9	63.0
図形	3	32.5	34.5	33.2
関数	4	56.1	52.0	51.2
データの活用	3	54.9	52.0	48.5

英語				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
聞くこと	6	62.3	59.6	58.4
読むこと	6	54.1	51.4	51.2
話すこと (やり取り)	0			
話すこと (発表)	0			
書くこと	5	31.3	24.1	23.4

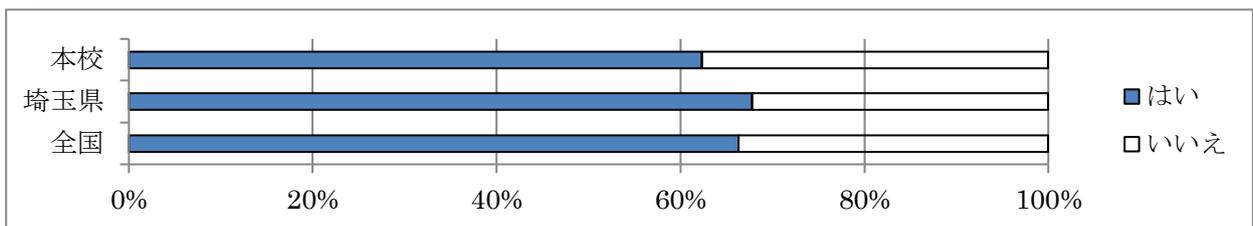
<生徒への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

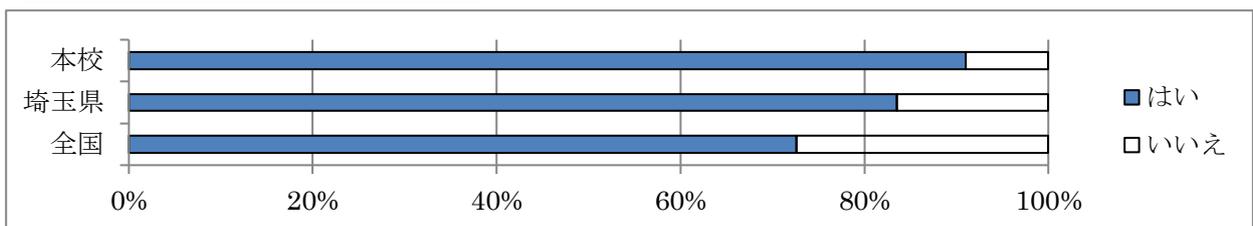
自分には良いところがあると思いますか。



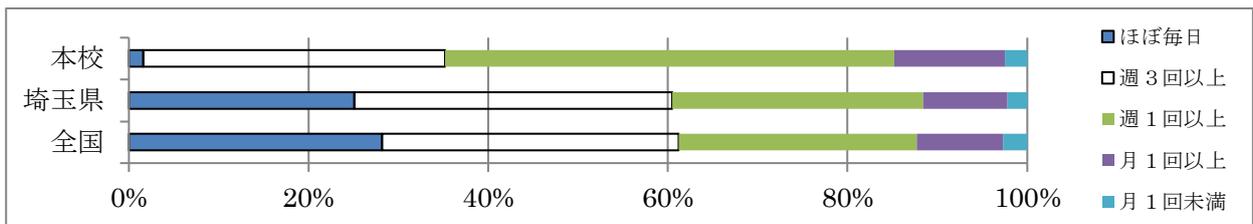
将来の夢や目標を持っていますか。



総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



1・2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

- ・知識及び技能において、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、県平均正答率、全国平均正答率を下回ったが、その他の項目では、県平均正答率、全国平均正答率を上回る結果となった。

【評価の観点別】

- ・「知識・技能」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率と概ね同じ程度であるが、「思考・判断・表現」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率を上回る結果となった。

<数 学>

【領域別】

- ・「図形」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率を下回ったが、「数と式」、「関数」、「データの活用」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率を上回る結果となった。

【評価の観点別】

- ・「知識・技能」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率と概ね同じ程度であるが、「思考・判断・表現」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率を6%以上上回る結果となった。

<英 語>

【領域別】

- ・「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の全ての領域で、県平均正答率、全国平均正答率を上回る結果となった。特に、「書くこと」に関する問題では、県平均正答率、全国平均正答率を7%以上上回る結果となった。

【評価の観点別】

- ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関する問題とも、県平均正答率、全国平均正答率を上回る結果となった。

<質問紙調査から>

【(6)】

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)

桶川東中 埼玉県 全国

(よくしている・ 69.7% 57.8% 55.0%
ときどきしている)

この項目に関して、本校の生徒は全国や埼玉県の数値より顕著に高い結果となりました。1学年の時から、定期テストへの取組ついて、計画を作成させるなど継続した指導の成果ともいえるのではないかと考えます。さらに、定期テスト後の取組状況を振り返る機会を設定して、一人一人の取組が向上するように努めてまいります。

【(0)】

1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

桶川東中 埼玉県 全国

(当てはまる・ 83.6% 75.5% 69.1%
どちらかといえば当てはまる)

この項目に関して、全国、埼玉県の数値よりも高い結果となりました。今後も、課題解決に向けた学びを充実させるとともに、「深い学び」につながる活動を効果的に行い、さらに豊かに表現できる力が向上するように努めてまいります。

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和5年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 調査対象

中学校第1・2・3学年 原則として全生徒

3 調査実施日

令和5年5月11日（木）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

中学校第1学年 国語、数学 第2学年、第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> 平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた生徒の割合…前年度から学力が伸びた生徒の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第1学年			第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
教科の領域等									
言葉の特徴や使い方	13	68.7	69.8	13	57.2	54.0	13	59.7	58.4
情報の扱い方、我が国の言語文化	5	44.3	44.2	8	68.7	65.0	6	56.3	54.3
話すこと・聞くこと・書くこと	5	53.1	56.3	3	77.7	72.1	5	56.9	56.1
読むこと	8	68.6	70.9	7	63.3	61.4	8	53.9	51.6
※学力の伸びた生徒の割合		↑↑	↑↑↑		↑↑	↑↑		↑	↑↑

数学（内容は算数）	第1学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
教科の領域等			
数と計算	11	53.9	61.0
図形	10	46.7	49.9
変化と関係	8	50.0	55.9
データの活用	4	59.2	60.9
※学力の伸びた生徒の割合		↑	↑↑

数学	第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と式	13	63.4	59.8	11	68.7	66.7
図形	9	52.3	50.4	8	62.4	61.7
関数	6	65.4	62.9	7	53.8	52.6
データの活用	5	73.9	67.6	7	60.9	58.8
※学力の伸びた生徒の割合		↑↑↑	↑↑↑		↑↑	↑↑↑

英語	第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
聞くこと	10	70.9	62.7	10	66.6	56.7
読むこと	18	59.2	54.7	18	56.3	50.4
話すこと	2	60.2	46.9	2	38.8	26.5
書くこと	6	42.3	35.5	6	58.8	48.2
※学力の伸びた生徒の割合					↑↑↑↑	↑↑↑

＜生徒への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：本校の達成率、下段：県の達成率 は80%以上 (%)

内容	項目	第1学年	第2学年	第3学年
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る			
	① 登校時刻	98.0	96.8	95.7
		97.7	96.4	95.8
	② 授業開始時刻	94.5	96.0	97.5
		96.7	97.3	97.5
	2 身の回りの整理整頓をする			
	③ 靴そろえ	83.6	96.9	87.2
		88.1	90.8	92.1
	④ 整理整頓	73.3	74.8	76.0
		76.6	77.6	80.4
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
	⑤ あいさつ	79.4	78.0	86.3
		82.6	83.1	84.6
	⑥ 返事	90.4	93.7	89.7
		89.4	92.0	90.1
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける			
	⑦ ていねいな言葉づかい	89.1	93.7	94.9
	90.8	92.6	92.6	

	⑧ やさしい言葉づかい	86.3 88.7	85.0 89.9	90.6 90.2
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る			
	⑨ 学習準備	88.4 91.5	93.7 92.5	96.6 93.0
	⑩ 話を聞き発表する	72.6 79.0	88.0 77.8	83.8 78.7
	6 生活のきまりを守る			
	⑪ 集団の場での態度	89.8 93.1	96.1 94.4	98.3 95.2
	⑫ 掃除・美化活動	81.4 87.4	87.4 86.8	87.2 87.2

本校の学力向上の取組

授業における取組

1 個別指導の徹底

- ☆ (1) チームティーチングや個別指導などきめ細やかな指導をしています。
- ☆ (2) 単元毎や授業毎に学習内容の振り返り活動を設定し、基礎基本の定着を図っています。
- (3) 評価と指導の一体化を図り、生徒一人一人の達成度に合わせた指導、助言をします。

2 言語活動の充実

- ☆ (1) 全ての教科において、少人数やペア、グループ活動を取り入れ、様々な形態での話し合い活動を行い、意見交換する時間を確保し、伝える力・表現する力の育成に努めています。
- ☆ (2) 各教室にモニターを設置し、授業の中で、生徒たちが、「考える」「考えを書く」「話し合う」「まとめる」「発表する」時間の可視化を図り、生徒の主体的ではじめある活動を推進しています。

3 学習に対する態度の育成

- (1) 学習意欲を高め、学び合う態度の育成のため、ICT端末や電子黒板などICT機器を活用した授業など、探究心を湧き立たせるような教材や指導を行っています。
- (2) 授業の展開の中に、意図的・計画的に言語活動を充実させる場面を設定し、生徒の思考力・判断力・表現力の高揚を図ります。

授業以外の取組

1 補充学習や朝の小テストの推進、よい良い学習環境づくり

- ☆ (1) 授業規律を明確化し、「授業の約束」「発言の仕方」を教員・生徒の共通の目標として日々取り組んでいます。
- ☆ (2) 定期テスト前に質問の機会を設けたり、長期休業中に課題を提示し、休業明けに確認テストを行ったりするなど、補充学習の充実を図っています。
- (3) 毎週金曜日に朝学習のチャレンジテストの取組を推進し、向学心、基礎基本の充実に努めています。
- ☆ (4) 学校生活の様々な場面で意欲を高め、心豊かで自己有用感を持つ生徒の育成を目指しています。生徒の作品の展示や各行事への取組を表す掲示物の充実を図り、より多くの生徒の成果・努力を表彰する教育活動を推進しています。
- ☆ (5) 読書を奨励し、本に親しみ、落ち着きがあり潤いのある学校生活の充実を図っています。

☆（6）生活ノートへの教員によるコメントを通じて、適切な助言や励ましを行うことで、生徒の自尊感情の高揚に努めています。

2 家庭学習の習慣化

- （1）家庭学習の推進のため、自主学習ノートを活用し、よりよい習慣を目指す指導を展開していきます。
- （2）新入生保護者説明会、各学年の保護者会、三者面談等において、本校の教育活動への連携を図ります。

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

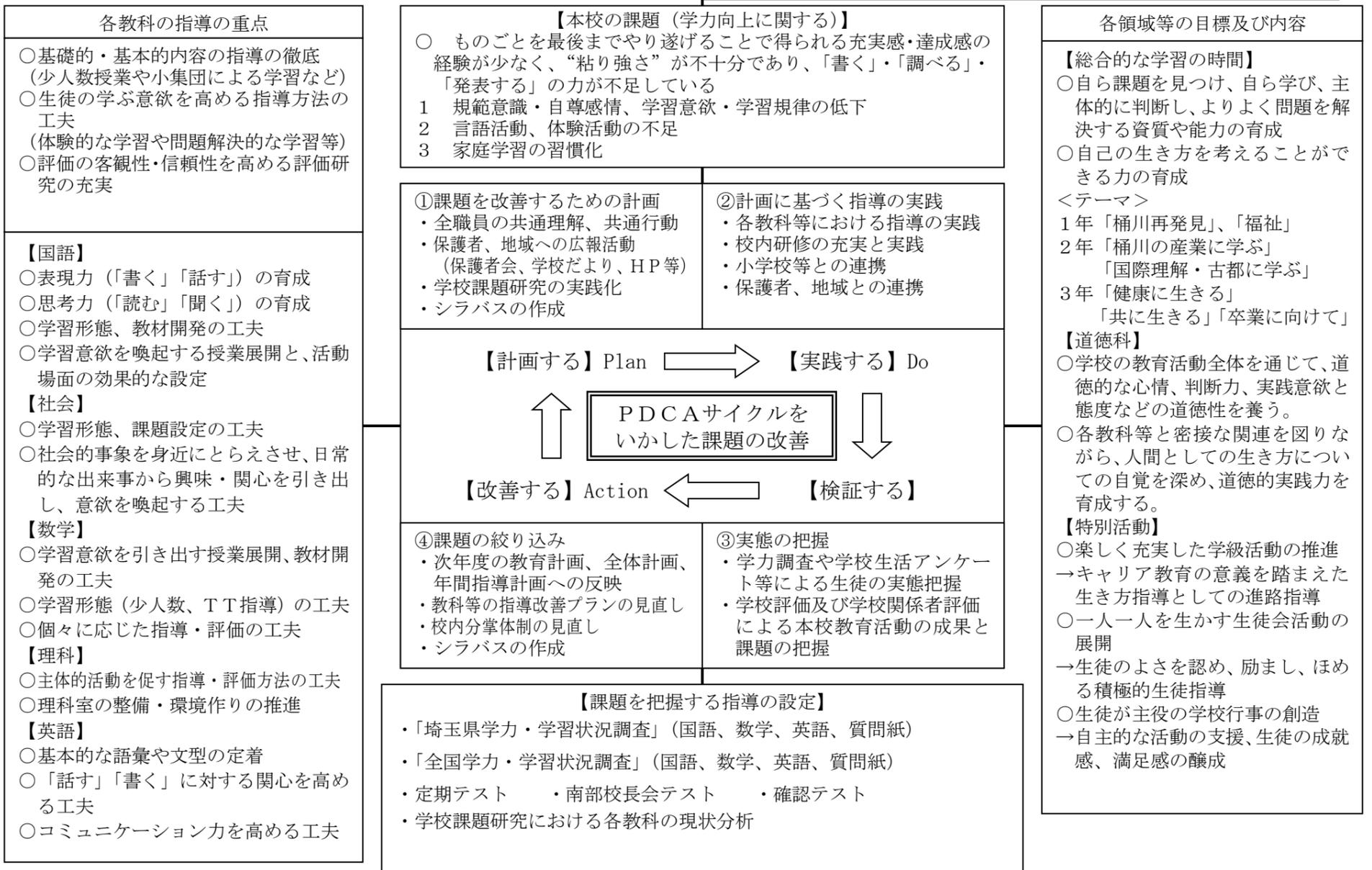
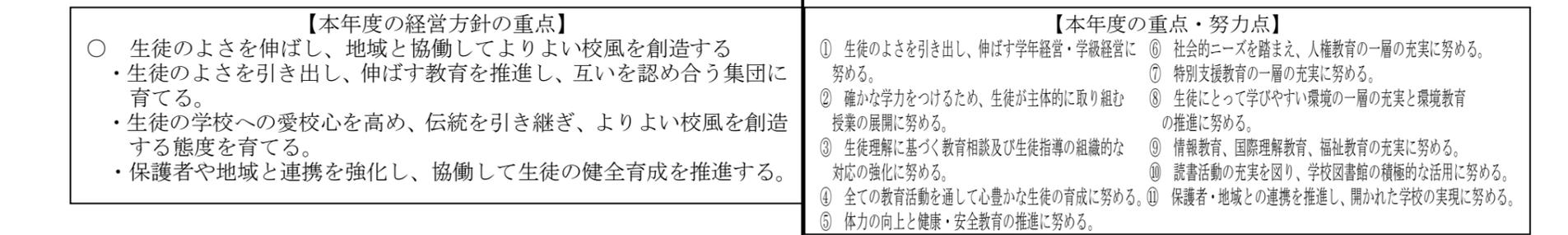
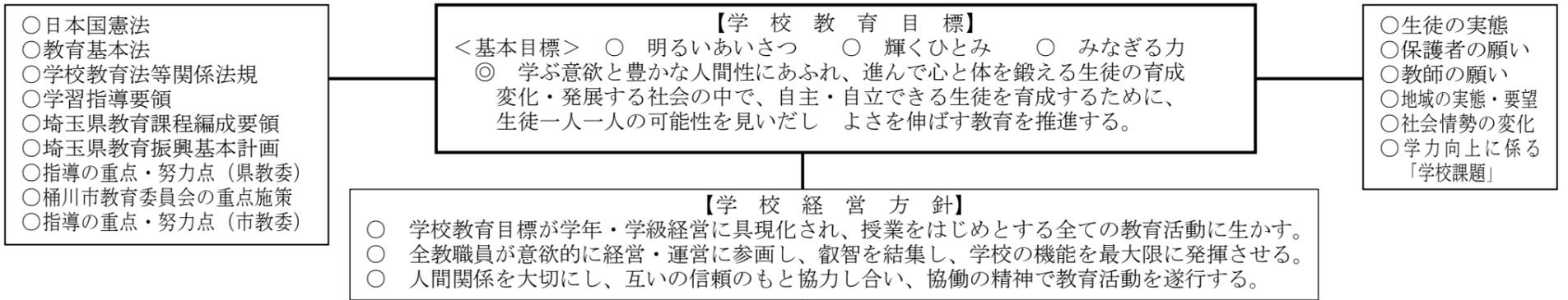
保護者・地域の皆様へ

本校では、令和元年度から4か年にわたり、『「できた、わかった、楽しい」を味わわせる学習指導の質的改善～主体的・対話的で深い学びを通して～』を主題として、各教科で「主体的で深い学び」を実現するために「見通し」と「振り返り」を大事にした授業を研究してまいりました。令和5年度からは、新たに「自他を認め、思いを豊かに伝える生徒の育成～自己肯定感を高める教育実践を通して～」を主題として昨年度までの研究の深く学ぶことを土台として、伝えることを強化し、表現力の育成を通して、さらに学力の向上を目指していくために取り組んでまいります。

今後も、すべての教育活動を通じて生徒のよさを引き出し、成長をサポートし、知徳体のバランスを図りながら、人間力の向上に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続き本校へのご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。

令和5年度の学力向上プラン

桶川市立桶川東中学校



改善の観点	I 指導内容・指導方法の工夫	II 教育課程の工夫・発展	III 学習評価活動の工夫	IV 家庭・地域社会との連携の工夫
取組の基本方針	基礎・基本の確実な定着を図り、それを活用する場を設定する。学習内容の系統性を図り、指導方法・形態を工夫する。	生徒の実態を把握しながら、系統的な指導計画の作成や教材の工夫・開発・準備等を行う。	生徒のよい点や達成状況を積極的評価することにより、一人一人の生徒を伸ばす。そのための評価方法や手立てを工夫する。	基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせることで、社会性の育成や自尊感情の向上を図る。
課題解決のための具体的取組（場と方法）	<ul style="list-style-type: none"> ○「授業の約束」による学習規律の徹底 ○生徒の実態や単元の特性に応じた指導の工夫 ・少人数、TT指導、小集団学習 ○定期テストに対する取組 ・取組表の作成と実践、放課後補習、テスト直しノート作成等 ○言語活動の場の設定 ・朝読書、1分間スピーチ等 ○基礎的学習内容の補充（夏期） 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画の実践・工夫・見直しと作成 ○教材・教具の準備・補充 ○言語活動及び体験活動の充実 ○情報の活用や情報モラルの指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画に基づいた評価規準の作成・見直し ○学習目標の明確化とシラバスの作成 ○授業における生徒の自己評価や相互評価を通し、自己評価能力や自尊感情の向上 ○基礎的内容（漢字、計算、英単語）の定着を図る小テストや定期テストの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭への啓発と評価の実施 ○適切な宿題の在り方（学習量、計画・継続性）の工夫と家庭学習の習慣化 ○家庭学習ノートの習慣化 ○PTAと協力してのあいさつ運動の実施
関連する活動、行事、組織等	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学習 ○教育支援担当訪問での公開授業 ○学力向上推進委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修 ○課題研究推進委員会 ○教育課程編成委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○シラバス ○定期テスト個票 ○通知表 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・学年だより ○学校公開、授業参観、保護者会 ○PTA総会